とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話2551番
毎旬5の日発行 1部70円1カ月200円 1カ年前納2,000円

名誉町民に河本氏

陸別町で三人目を

陸別町では二十三日に招集予定の定例才四回町議会に河本富士男氏(75)を名誉町民として顕彰するように提案することになりました

河本氏を名誉町民に―との動きは、春いらい金沢賢蔵、山本憲一、坂田一男、平林英祐、加藤三治氏ら町内有志から杉田町長に申し入れがあり、町議会でも矢鋪正信議員などから要望が強かつたものですが、町では十一月十八日に名誉町民審査委員会をひらいて諮問したところ顕彰すべきであるとの答申を得たもので、町としては故山本原四郎氏と工藤稲吉氏につづいて三人目となります。

河本氏は明治三十二年に旭川市で生れ、幼少のころから鉄道建設工事を請負つていた父福太郎氏とともに十勝に入り、池北線の開通によつて明治四十四年に陸別に住みつき、優先的に現在の駅構内用地で立売り、食堂を経営するようになり大正十年にはこの地方ではじめての新聞店も開業―それだけに若い文化人として青年組織のリーダーとなつて当時としては珍しい活版刷りの青年会報やローカル新聞の陸別新報を発行し、十勝文芸の同人でもあつたし独学で無線通信の開拓者でもありました。

その間、消防団員、統計調査員、国勢調査員などをつとめ、昭和三年には支庁管内青年代表として天皇即位大典行事に招かれ、翌年は森林防災組合長に選ばれ昭和五年から二十一年までのあいだ村会議員として村政に参画、このあとは二十二年に消防団長、二十四年に文化協会長、二十六年に公平委員長、二十七年に教育委員長、三十五年に代表監査委員という具合に長年月にわたつて多くの町の公職にたずさわつて三十八年には町政功労者として表彰をうけました。

そのころから心臓を悪くして帯広へ入院したり自宅療養をつづけるようになつて才一線から退きましたが陸別町史の編纂について河本氏ならではの資料を提供して完成に協力、青年時代からの文芸活動、テレビ時代に入つて共同聴視施設の推進、初代の文化協会長として長らく町の文化振興につくした功績で四十四年に町文化賞を受賞しました。

現在の河本氏は陸別駅前の自宅で療養中で、新聞販売店や食堂経営は子息の哲士氏に任せて、書斉兼寝室で読書や執筆の毎日をおくつていますが、文化人としての名誉町民は管内では珍しい存在となりそうです。

国のうちそと

三木内閣の寿命

★今太閤だの庶民宰相だのともてはやされたと思つたら、その実は成りあがりの土建屋、タチの悪い不動産屋的な政治家でしかなかつたような田中総理に代つた三木総理は、大字を三月に卒業して四月には代議士になつてから三十七年間におよぶ根つからの議会政治家だけに、自民党老人クラブのなかでは見識のある人

★こんどだけは札束の力で登場した総裁、総理ではないし、前がヒドかつただけに三木新内閣によせる国民の期待は大きいが、この異常な物価高、インフレ、不況をいまただちに解消できないとしても、せめて政府の方で定める公共料金の引上げくらいは押えられるのだから、それすらできないようではほかの大きなことはできるわけがないのでいくらキレイごとをいつてもやることは田中内閣と同じであつては、きたるべき春斗の労働攻勢と野党攻勢を正当化すること。

★いまのところ政権担当の能力のあるのは自民党たけだとして、内閣が総辞職しても党内で政権のタライをして総選挙をさけることによつて命脈を保つているのであつて、いずれ明年はイヤでも総選挙をさけられないとすれば、このインフレ、不況のもとでは参議院選につづいて自民党の敗退は明らかで、そうなれば議会政治家として見識のある三木総理であればまたぞろタライまわしでなく憲政の常道に従つて政権を野党連合に渡さざるを得ない筈。

知事選の動き

柴田副知事が応援に

堂垣内尚弘足寄後援会の拡大大会は八日午後一時四十分から林業会館に会員二百余名があつまつてひらき黒田栄伸氏の司会で、この大会のために特に来町した柴田道副知事に故岡崎道議のお孫さんから歓迎の花束贈呈があつて柴田氏から『日ごろ足寄のみなさんのご厄介になり堂垣内知事に代り厚くお礼を申しあげます、いよいよ知事選の相手候補も決まり選挙選がはじまつたような状態であります、堂垣内は巾ひろい道民の支持をうけるために無所属となり、民社党、同盟の推薦も頂いたが私どもは民主政治を守り自由主義を守り、道民のための道政をおこないたい、選挙はこれまでと違つた状態になつており、札幌ではポスターを張つてもひと晩ではがされてしまう、参議院選後、帯広市長選、旭川市長選、根室市長選、網走市長選等々おこなわれましたが、そういう選挙を通じて実態をみておりますと、いままでですと、たとえば会社の社長さんにご依頼しておけば会社ぐるみでまとまる、あるいは農協組合長さんにお頼みすれば組合員全体が組合長さんのいうとおりになるのが従来の傾向でした、ところがこんにちでは有権者の一人々々に呼びかけなければなりません、革新系の方ではオルグとかあるいは専任のビラをはがす人、ビラを配る人、あるいは戸別訪問をするという専門家を数多くかかえています、私どもの政党はそういう人ではなく、みなさんのように本当に協力して頂く方々にすがつていくしかない、みなさんが核となり手足となつて拡大していつて、どうか堂垣内を勝たして頂きたい、堂垣内に代つて心からのご支援をお願い申しあげます』とのあいさつがありました。（写真）

集団選対で必勝体制へ

つづいて拡大大会にうつり、斉藤昇会長のあいさつ大通健三幹事長の経過報告があつて、議長団に大野耕太郎、品川サワイ、大沢富男の三氏を推して議事に入り、黒田氏から提案説明による①町内百余カ所に堂垣内後援会を設ける②その会の区域は全町とする③それぞれの会に会長、幹事長、青年部長、婦人部長をおく④その上に連合会を設ける、などの組織強化策を決めてから能登勇次郎、大沢富男、加藤満、武田伊助、河向一夫の五氏を選考委員にあげて、つぎのように連合会の役員を決め、集団指導体制で知事選の必勝を期すことになりました。

▲連合会長　斉藤昇　新沼芳雄　遠山謙　大通健三
▲同副会長　石田富男　大川義夫　柴田栄一　岡崎薫　高橋佳夫
▲幹事長　日景健治　小林道輝　豊田張男　加藤晴敏
▲企画室　黒田栄伸　河向一夫　能登勇次郎　田中静雄　加藤碩　石川勲
▲専任委員　村上忠雄　西尾要　武田伊助　大沢富男　ほか約五十名

自民党支部の定期大会

自由民主党足寄支部の本年度定期大会は五日午後五時すぎから林業会館でひらき、鷲足賢支部長からあいさつがあつて、議長に大野耕太郎氏を推して議事に入り、高橋佳夫幹事長の党務報告、松崎稔事務局長の会計報告、両角章会計監事の監査報告をそれぞれ承認、運動方針は新執行部によることにして役員改選にうつり、選考委員に斉藤昇、市原四四三、能登勇次郎、水野源次郎、遠国喜一の五氏をあげて選考の結果、つぎのように決定しました。

なお、地元道議候補問題については、大野耕太郎氏の公認は得られなかつたが党籍証明によつて出馬の可能性もあるので新執行部に引きつぐことになりました

▲支部長　鷲足　賢
▲幹事長　石田富男
▲副幹事長　豊田張男　小林道輝
▲総務会長　河向一夫
▲政調会長　岡崎　薫
▲選対委員長　黒田栄伸
▲同副委員長　能登勇次郎
▲事務局長　水野源次郎
▲会計監事　両角　章　野上浅太郎

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
(久)久保呉服店
足寄町 T二一四八

創立五十五週年〔歳の市〕を開催
十二月二十日から三笠通り元足寄劇場前で
お正月のおかざり類を大勉強提供
足寄町南一区 武藤野菜店 T二七一二

電話番号は二〇二三に変更となります
明るいスナック
シャンブル
足寄町南一区 T 二〇二三

不動産についての御相談は
調査 売買 あつせん 管理 分譲
代行 登記 損害保険 代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T二三四五

新鋭機導入！
一五〇キロ高速ホイルバランサー
レッカー車 フレーム修正機
RM アクリル 調色機
札幌陸運局認証 整備 板金 塗装
ムトウ自動車工業
足寄町 T 二五七八 夜間専用 三七一九

家具 建材 アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社 桜井家具建具店
足寄町北五区 T 二三六二 工場西五区

技術に生きる！
―あらゆる電気器具―
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
世界のビクター
HIS MASTERS VOICE
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り T 2642

防寒衣料品揃いのお知らせ
紳士防寒コート 各種オーバーコート
婦人用長オーバーから七分オーバーコート
中子オーバーから豆オーバーまで
紳士婦人アノラック・ヤッケ・中子アノラック
中子ヤッケ全サイズ入荷
冬が目前です、当店の衣料で暖かくお過し下さい。
株式会社
前田呉服店
足寄町駅前商店街 T二〇二三